

活動レポート

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会 幹事長 千葉 裕

母校での講演はいつも以上に力が入ります 「技術士を知ろう！ in 苫小牧高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2021年度の活動第2弾は、2017～19年度に講演を行っている苫小牧工業高等専門学校(苫高専)にて実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

苫高専での講演は、例年3年生を対象に実施していたのですが、昨年はコロナ禍の影響により開催が出来ませんでした。そこで今回は新4年生を対象に“対面”での出前授業を実施しました。

2. 実施概要

開催日時：令和3年7月8日(木) 13:00～14:30

講義内容：技術士資格の説明

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木全般の仕事紹介

対象者：創造工学科 都市・環境系

都市・環境コース 4年生 計42名

参加幹事：小澤、木本、千葉(記)(ミライ研3名)巻口、高橋(青技交2名)

今回、苫高専での講演は、創造工学科の都市・環境系の渡辺先生(技術士)の力強いバックアップがあって実現することが出来ました。

すでにご存知の方も多いかと思いますが、苫高専は筆者の母校でもあります。思い起こせば27年前、当時は土木工学科という名前ではほぼ男子学生しかいなかったのですが、現在は創造工学科 都市・環境系と言う名前が変わり、1/4が女子学生という、まさにダイバーシティ?が進んだ環境となりました。講演会場のセミナー室も以前の視聴覚室が改装されたものであり、時の流れを感じます。

3. 技術士について

小澤代表より、技術士資格の説明として、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってから仕事をする上での資格取得の重要性等について説明を行いました。

久しぶりの対面型講演会と言うこともあってか、小澤代表も高ぶる気持ちを必死に抑えているように見えました。プレゼン内容は既に殿堂入りしつつあるため、今さら語るまでもありませんが、学生達にとって技術士の世界がより身近になったようです。



写真-1 圧倒的な存在感で学生を引き付けた小澤代表

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 道路分野の技術士の仕事(高橋技術士)

具体的な仕事内容の紹介として、まずは(株)ドーコンに勤務する高橋技術士から、道路分野の仕事紹介と題してプレゼン発表を行いました。

自身の学生時代のエピソードに始まり、就職してからの仕事内容。27歳で技術士を取得するという離れ業をやったのけた自慢話 笑。技術士の取得前後での仕事内容や顔つきの違い等、より学生に近い高橋技術士だからこそその説得力で、学生達は羨望の眼差しで高橋技術士を見ていました。



写真-2 イケメンな高橋技術士(青技交 幹事)

(2)河川分野の技術士の仕事(巻口技術士)

続いて、苫高専OBで、(株)福田水文センターに勤務する巻口技術士から、河川分野のコンサルタントの仕事と題してプレゼン発表を行いました。

建設業界の仕事を説明するため、事業段階別(企画立案、調査計画、設計、施工、維持管理)に、行政、コンサル、ゼネコンがどのように関わっているのかを模式図を使ってわかりやすく説明しました。

また、河川分野のコンサルタントとして、クライアントが困っている問題に対し、自身を川のお医者さんに例えて、どのような処方箋(解決策)を提案してきたかを、具体例を交えて説明してくれていました。



写真-3 新しく出来たセミナー室での講演模様

5. 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、(株)ドーコンに勤務する木本技術士から土木や建築の業界全般を対象に、2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。渡辺

先生からリクエスト頂いたコンサルタントにも様々な仕事があることを知ってもらい、学生達が自分の将来を考える機会になればと考えて用意しました。

次年度の今頃には、新たな進路を決めることになる4年生ですが、自分たちの「ミライ」を考えるきっかけにしていただけたいようです。

6. 質疑応答

筆者の進行で参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答では「どんな仕事をするとき技術士が役に立つのか」、「勉強が苦手でも就職した後にうまくやっていけますか」、「仕事に就くうえで、勉強しておいたほうが良いものを教えて欲しい」といった、今後の就職活動に直結するような質問や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。

7. まとめ

学生からの感想には「技術士が重要であることがとてもわかり、技術士取得への意欲が増した」「講演を聞いて色々なメリット、特徴を知り技術士を積極的に取りたいと思った」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。アンケートでは、38人中30人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、42人中41人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。

また、「今回のプレゼンを聞いて、良いイメージが沢山持てた」、「高専卒でも取れるというのはとても自信になった」、「実際の仕事内容や経験を聞いて、自分が今後どのような仕事がしたいかのイメージができてよかった」といった感想も頂きました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価でいずれも4.8、4.9と学生に高評価であったことも一因だったのでは、と考えています。

また、講演後に渡辺先生から来年度のオファーも早々に頂きました。先生からの要望で次年度は技術士補試験の願書提出期限前(5～6月)に開催する事となりました。来年度も頑張ります。